

## 令和4年度事業報告

### 1 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
正・副理事長 打合せ会	4. 4. 27	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員改選の件について</li> <li>・令和4年度常設委員会委員候補者について</li> </ul>
監 事 会	同 上	同 上	監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度収支決算に関する事項</li> </ul>
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 オンライン 2名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告及び決算等について</li> <li>・第83回定時総会提出議案について</li> <li>・役員改選の件について</li> <li>・令和3年度JAS優良工場決定について</li> <li>・第69回優良従業員表彰被表彰者決定について</li> <li>・その他</li> </ul>
正・副理事長 打合せ会	4. 5. 25	ホテル雅叙園 東 京	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役付役員の互選等について</li> <li>・その他</li> </ul>
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度委員会等委員の委嘱について</li> <li>・第83回定時総会の運営について</li> <li>・その他</li> </ul>
第83回定時 総会	同 上	同 上	会員 104名 本人出席34名 委任状70名	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和3年度事業報告の件</li> <li>②令和3年度決算書等承認の件</li> <li>③定款改正の件</li> <li>④令和4年度事業計画報告の件</li> <li>⑤令和4年度収支予算報告の件</li> <li>⑥入会基準決定の件</li> <li>⑦令和4年度加入金決定の件</li> <li>⑧令和4年度会費及び徴収方法決定の件</li> <li>⑨常勤理事報酬最高限度決定の件</li> <li>⑩理事及び監事の任期満了に伴う改選の件</li> </ul>
役付役員 互選理事会	同 上	同 上	理事 18名 監事 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役付役員の互選について</li> </ul>
正・副理事長 打合せ会	4. 9. 28	TKP品川カンファレンス センター-ANNEX	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会の運営について</li> <li>・令和6年以降の総会開催地について</li> </ul>
理 事 会	4. 9. 28	TKP品川カンファレンス センター-ANNEX	理事 12名 オンライン 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の加入について</li> <li>・食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについて</li> <li>・その他</li> </ul>

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
正・副理事長 打 合 せ 会	5. 1. 25	ホテル雅叙園 東 京	正・副理事長 4名	・役員会の運営について ・役員賠償責任保険の加入等について
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 1名	・会員の加入について ・輸出促進に向けた食品表示等のグローバル化対応について ・その他
正・副理事長 打 合 せ 会	5. 3. 29	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	・役員会の運営について ・役員賠償責任保険の加入等について ・役員補選の件について
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 3名	・令和5年度予算の基本方針及び大綱について ・令和5年度収支予算について ・その他

## 2 庶務に関する事項

(1) 令和4年4月29日、一般社団法人 日本食肉加工協会の常務理事である株式会社サンシヨクの松井陽樹会長が多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあって組織の運営と業界の発展に尽力した功績により「旭日単光章」受章の栄に浴された。

(2) 令和4年5月25日、「ホテル雅叙園東京」において第83回定時総会が開催され、任期満了に伴う役員改選が行われた結果、次のとおり理事18名、監事3名が選出された。

理 事：内 田 達 也（新任）、大 金 弘 武（新任）、大 野 高 志（再任）、  
川 島 俊 郎（再任）、菊 地 令（再任）、清 田 浩 徳（新任）、  
桑 崎 俊 昭（新任）、佐 藤 勇 二（新任）、塩 島 勉（再任）、  
瀧 澤 太 郎（新任）、竹 内 裕 嗣（新任）、竹 田 清（再任）、  
千 葉 尚 登（再任）、根 岸 晴 夫（再任）、畑 佳 秀（新任）、  
福 島 保 訓（再任）、堀 内 朗 久（再任）、松 井 陽 樹（再任）、

監 事：杉 江 秀 記（新任）、竹 内 淳（新任）、西 島 一 之（新任）、  
第83回定時総会に引き続き開催の役付役員互選理事会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名、副理事長3名、専務理事1名、常務理事2名、代表監事1名が選任された。

理 事 長：畑 佳 秀（新任）

副理事長：佐藤 勇二（新任）、竹内 裕嗣（新任）、千葉 尚登（再任）

専務理事：塩島 勉（再任）

常務理事：瀧澤 太郎（新任）、松井 陽樹（再任）

代表監事：杉江 秀記（新任）

(3) 令和5年3月15日、一般財団法人食品産業センター主催の「第44回食品産業優良企業等表

彰」の食品産業部門において、農林水産大臣賞が以下の通り授与された。

農林水産大臣賞<農商工連携推進タイプ>

福島 保訓 (榎桑原ハム 社長)

農林水産大臣賞<経営革新タイプ>

佐々木 康成 (タカラ食品工業(株) 社長)

### 3 会員に関する事項(令和5年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前期末現在	128名(正会員甲125名、正会員乙0名、特別会員3名)
新 加 入 者	4名(特別会員 0名)
脱 退 者	5名(正会員甲 5名)
今期末現在	127名(正会員甲124名、正会員乙0名、特別会員3名)

- (注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの  
正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの  
特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

### 4 事業の概要

#### (1) 安全性の確保に関する事業

##### ア HACCPシステムに基づく衛生管理講習会の開催

会員に対してHACCPシステムについての理解を深め、かつその推進を図るため、「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)(旧講習会名：総合衛生管理製造過程に係る講習会)」を、衛生管理の基礎からHACCPシステムの構築までの知識を習得することを目的として4日間のオンライン講習を行った。

開催日	受講者数
令和4年8月31日(水)、9月1日(木)、2日(金)、9日(金)	10名
令和5年2月15日(水)、16日(木)、17日(金)、24日(金)	11名

##### イ 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(HACCP手法支援法)に係る指定認定機関の業務について

HACCP手法支援法では、食品製造工場がHACCPシステムを導入し、製造過程の管理の高度化を円滑に図る際の施設設備の整備又はHACCPシステム導入に向けた前段階での施設設備の整備を支援する。当協会は同法に基づく食肉製品の指定認定機関としての業務を行っているが、令和4年度は高度化計画の申請はなかった。HACCP支援法については、附則第2条に規定するとおり、令和5年6月30日限りでその効力を失い、新規貸付は終了することになる。

##### ウ 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、

消費者等に情報を提供した。

エ 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ最新情報の提供に努めた。

オ 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理等に関し、講義内容を再編し、4日間のオンライン講習として開催した。

開催日	受講者数
令和5年1月13日(金)、20日(金)、27日(金)、31日(火)	32名

イ 食肉製品の規格と表示に関する研修会の開催について

ハム・ソーセージ類公正取引協議会（以下「公取協」という。）及び一般社団法人食肉科学技術研究所（以下「食肉科研」という。）と協力し、食品の表示の基本となる食品表示基準に加え、JAS規格、食品衛生法及びハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約との関連性について、若手を対象とした「食肉製品の規格と表示に関する研修会」を令和4年度は1回実施し、20名が参加した。

ウ 「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」に係る確認調査

令和4年3月30日付で消費者庁から「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）が示された。このガイドラインは食品関連事業者等が任意で表示する「無添加」、「不使用」等の表示について、表示禁止事項（食品表示基準第9条）に当るか否かのメルクマール（指針）として策定され、会員のこのガイドラインに対する理解度、取り組み状況、課題などを把握するために公取協、日本ハム・ソーセージ工業協同組合（以下、「ハム組合」という。）と協力して、アンケート調査を実施した。

エ ハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約解説書の改正について

ウのアンケート調査の結果、食品関連事業者のうち58%が「無添加」、「不使用」等の表示を行っているとは回答されたため、ガイドラインの種類のうち、ハムソー業界に影響を及ぼす可能性がある類型に限定し、加えて現在の製品への表示に可能な限り影響が出ないよう配慮し、公取協、ハム組合と協力して令和4年11月8日付で公正競争規約解説書の見直しを行い、会員等に周知した。

オ 生ハム促成製品の食塩相当量について

日本食品標準成分表（以下、「成分表」という。）（七訂）で示されている生ハム促成製品の食塩相当量は実態と合っていないために、成分表の数値と比較した減塩表示ができない旨の相談を受け、文部科学省 科学技術・学術政策局に成分表の生ハム促成製品食塩相当量の数値の変更を依頼する収載申請を令和2年12月に行い、令和4年10月18日に開催された第十一期食品成分委員会（第22回）において、食塩相当量の数値が変更されることになり会員等に周知した。

カ 食品表示基準の一部改正について(特定原材料への「くるみ」の追加)

アレルギーを含む食品表示については「食品表示基準」において特定原材料(義務表示)が定められている。令和5年3月9日付で内閣府令が公布され、アレルギー物質として推奨表示の対象であった「くるみ」が特定原材料に追加され、会員等に周知した。

従って「くるみ」のアレルギー物質を含む加工食品等には、2年の経過措置期間後に、これらを原材料として含む旨の表示が必要となる。

キ 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

ク 品質等管理優良事例の表彰

JAS認証事業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位11工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、表彰状及び記念品を贈呈した。

ケ 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、ハム組合及び公取協の協力を得ながら次の事業を実施した。

ア 小冊子の作成及び配布

見開きA4サイズカラー44ページの小冊子「ハムソベのちしき〜キャラでわかる! 栄養素と食品添加物〜」を4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

イ ホームページのリニューアルについて

令和4年6月1日より、ホームページを大幅にリニューアルし、より情報が探しやすいよう構成やデザインを全面的に刷新した。また、スマートフォンやタブレット端末からも閲覧できる仕様とした。

ウ 催事への協賛・協力

令和5年3月7日〜10日に開催された「第47回食肉産業展2023」に出展し、パネルの展示、書籍の展示、冊子の配布(約3千冊)等を行った。

エ 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

令和4年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合

及び食肉科研と連携して実技試験の実施に協力した。令和5年1月22日に学科試験、2月4日、5日に実技試験が行われた結果、1級24名、2級34名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ 環境自主行動計画について

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和4年度フォローアップ調査（令和3年度実績）を実施し、その調査結果を令和4年11月2日に農林水産省へ報告するとともに、令和5年2月17日にハム組合ホームページに掲載した。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、JAS法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に係る資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、ハム組合と合同して、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状を贈呈した。

被表彰者 30年以上勤続者 伊藤ハムデイリー株式会社 中原 信一氏 他全73名

20年以上勤続者 大山春雪さぶーる株式会社 吉岡 伸治氏 他全8名

(7) その他

ア 国際食肉科学技術会議（ICoMST）への協力

2022年8月21日～25日にかけて兵庫県神戸市で開催されたICoMST（現地及びWEB）に向けてハム組合と協力して取り組むとともに、大会初日、ハム組合強谷専務理事が”Development Japanese Wagyu Beef in the World Beef Market”と題し基調講演を行った。

イ 令和5年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

ウ 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶弔 5件